



## 2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年11月9日

上場会社名 澤藤電機株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6901 URL http://www.sawafuji.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉川 昭彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 青木 栄 TEL 0276-56-7138  
 四半期報告書提出予定日 2018年11月9日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	15,610	8.4	446	—	515	361.3	482	552.1
2018年3月期第2四半期	14,399	6.4	8	△97.5	111	△63.0	74	△63.8

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 285百万円 (17.5%) 2018年3月期第2四半期 242百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	111.84	—
2018年3月期第2四半期	17.15	—

(注) 当社は2017年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	19,546	8,963	45.4
2018年3月期	20,981	8,785	41.5

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 8,870百万円 2018年3月期 8,705百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期 (予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,500	2.0	730	63.0	830	50.6	550	113.7	127.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	4,322,000株	2018年3月期	4,322,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	7,008株	2018年3月期	7,008株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	4,314,992株	2018年3月期2Q	4,315,078株

(注) 当社は2017年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
四半期連結損益計算書	P. 5
四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 8
(追加情報)	P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2018年4月1日から2018年9月30日までの6ヶ月間)の国内経済は、企業収益や雇用環境に改善がみられるなど、緩やかな回復が続きました。一方海外経済は、米国、欧州では緩やかな回復基調が継続し、また、中国、アジア新興国でも持ち直しの動きがみられるものの、米国の通商政策、中東情勢による原油価格の上昇等により、景気を下振れするリスクは依然として残っております。このような経済環境の下、当社グループは各事業の売上拡大に努めた結果、売上高は前年同期と比べ12億11百万円増の156億10百万円となりました。

事業別の売上高は、電装品事業は、国内、海外向けが共に堅調に販売を伸ばしたことにより、77億69百万円(前年同期比6億58百万円増)となりました。発電機事業は、自社ブランド発電機「ELEMEX」が中東、中国などで販売が低迷したものの、受託生産している発電機の販売増があり、46億32百万円(前年同期比4億22百万円増)となりました。冷蔵庫事業は、オーストラリア向けの販売が堅調に推移したことにより、29億45百万円(前年同期比88百万円増)となりました。

次に利益面では、電装品・発電機・冷蔵庫の各事業における販売増、原価改善等の推進、また、前年度発生した国内子会社(株)エス・エス・デーの過年度における不適切な会計処理について前第2四半期連結会計期間にて、一括修正した影響額の解消により営業利益4億46百万円(前年同期比4億38百万円増)、経常利益5億15百万円(前年同期比4億3百万円増)、親会社株主に帰属する四半期純利益4億82百万円(前年同期比4億8百万円増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末は、総資産が195億46百万円となり、前年度末と比較して14億34百万円の減少となりました。これは主に現金預金・売掛債権及び投資有価証券の時価評価の減少等が大きかったことによるものです。

負債は、105億83百万円となり、前年度末と比較して16億12百万円の減少となりました。これは主に買掛債務及び長期未払金の減少等が大きかったことによるものです。

純資産は、89億63百万円と、前年度末と比較して1億77百万円の増加となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益4億82百万円の計上、その他の包括利益累計額の減少及び剰余金の配当1億7百万円を行ったこと等によるものです。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、12億15百万円(前年同四半期比4億80百万円減)となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは3億57百万円(前年同四半期比5億77百万円減)となりました。これは、税金等調整前四半期利益5億15百万円の計上と減価償却費2億96百万円の計上が生じ、また、仕入債務の減少9億23百万円と売上債権の減少7億4百万円及びたな卸資産の減少52百万円によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは△3億74百万円(前年同四半期比45百万円減)となりました。これは、主に設備の取得3億87百万円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは△1億59百万円(前年同四半期比1億24百万円減)となりました。これは、主に長期借入金の返済40百万円及び配当金の支払1億7百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度(2018年4月1日から2019年3月31日までの12ヶ月間)の連結業績予想につきましては、2018年5月11日に公表いたしました内容から変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,440	1,215
受取手形及び売掛金	6,865	6,090
商品及び製品	1,799	1,726
仕掛品	2,465	2,377
原材料及び貯蔵品	294	304
その他	162	121
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	13,026	11,832
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,214	1,243
機械装置及び運搬具(純額)	1,132	1,084
土地	1,011	1,011
建設仮勘定	42	57
その他(純額)	259	250
有形固定資産合計	3,660	3,647
無形固定資産	64	59
投資その他の資産		
投資有価証券	4,105	3,868
繰延税金資産	62	122
その他	61	15
投資その他の資産合計	4,229	4,006
固定資産合計	7,954	7,713
資産合計	20,981	19,546

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,207	5,186
短期借入金	1,469	1,411
未払法人税等	42	51
製品保証引当金	264	221
賞与引当金	442	448
役員賞与引当金	48	—
その他	1,380	1,163
流動負債合計	9,856	8,482
固定負債		
長期借入金	20	0
退職給付に係る負債	1,643	1,632
長期末払金	429	205
役員退職慰労引当金	115	132
資産除去債務	129	129
繰延税金負債	0	0
固定負債合計	2,339	2,100
負債合計	12,195	10,583
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,080	1,080
資本剰余金	117	117
利益剰余金	5,034	5,409
自己株式	△9	△9
株主資本合計	6,223	6,598
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,563	2,398
為替換算調整勘定	159	96
退職給付に係る調整累計額	△240	△223
その他の包括利益累計額合計	2,482	2,272
非支配株主持分	79	92
純資産合計	8,785	8,963
負債純資産合計	20,981	19,546

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	14,399	15,610
売上原価	13,062	13,789
売上総利益	1,336	1,821
販売費及び一般管理費	1,328	1,374
営業利益	8	446
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	54	60
固定資産賃貸料	24	24
為替差益	34	—
その他	6	20
営業外収益合計	118	105
営業外費用		
支払利息	8	10
為替差損	—	21
固定資産賃貸費用	6	4
営業外費用合計	15	36
経常利益	111	515
特別利益		
固定資産売却益	0	0
退職給付制度改定益	41	—
特別利益合計	41	0
特別損失		
固定資産処分損	0	0
その他	4	—
特別損失合計	4	0
税金等調整前四半期純利益	148	515
法人税等	59	16
四半期純利益	89	499
非支配株主に帰属する四半期純利益	15	16
親会社株主に帰属する四半期純利益	74	482

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	89	499
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	△165
為替換算調整勘定	16	△65
退職給付に係る調整額	127	17
その他の包括利益合計	153	△213
四半期包括利益	242	285
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	226	272
非支配株主に係る四半期包括利益	16	13

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	148	515
減価償却費	316	296
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△42	△39
賞与引当金の増減額(△は減少)	18	6
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△43	△48
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1,007	14
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△56	16
受取利息及び受取配当金	△54	△61
支払利息	8	10
為替差損益(△は益)	2	7
固定資産売却損益(△は益)	△0	△0
固定資産処分損益(△は益)	0	0
売上債権の増減額(△は増加)	375	704
たな卸資産の増減額(△は増加)	179	52
仕入債務の増減額(△は減少)	545	△923
未払又は未収消費税等の増減額	△48	△16
長期未払金の増減額(△は減少)	451	△223
その他	173	31
小計	968	342
利息及び配当金の受取額	54	61
利息の支払額	△8	△10
法人税等の支払額	△80	△36
営業活動によるキャッシュ・フロー	934	357
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△319	△387
固定資産の売却による収入	0	4
貸付けによる支出	△7	△3
貸付金の回収による収入	8	10
その他	△9	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△328	△374
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	111	△11
長期借入金の返済による支出	△38	△40
配当金の支払額	△107	△107
その他	△0	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△34	△159
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△48
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	571	△225
現金及び現金同等物の期首残高	1,124	1,440
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,695	1,215

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。